

# 令和2年度 決算報告



市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えするために、市公式ホームページなど、さまざまな方法で予算の執行状況や決算を公表しています。今月は2年度の一般会計の決算の概要と、実施した主な事業をお知らせします。

## 2年度一般会計決算の概要

歳入は、固定資産税が新築家屋の増加により増額になった一方、法人市民税が税率改定や企業の業績悪化の影響などにより減額となりましたが、特別定額給付金事業費・事務費補助金などの国庫支出金が増加したことから、全体としては前年度比40.1%の増となりました。

歳出は、「第4次狭山市総合計画後期基本計画」に基づき、さまざまな行政課題に応える事業を進めたほか、新型コロナウイルス感染症

に対応した事業を実施しました。その結果、総務費が特別定額給付金給付事業費の増額により、民生費が旧入間中学校の公共建築物解体工事費の増額などにより増加し、歳出全体としては前年度比38.3%の増となりました。

全体では、歳入総額651億777万円、歳出総額635億1,335万円となりました。歳入から歳出を差し引いた額、15億9,442万円は、3年度に繰り越しました。

## 市の財政状況を公表します

2年度決算と3年度上半期の予算、財産、基金の状況を公表します。

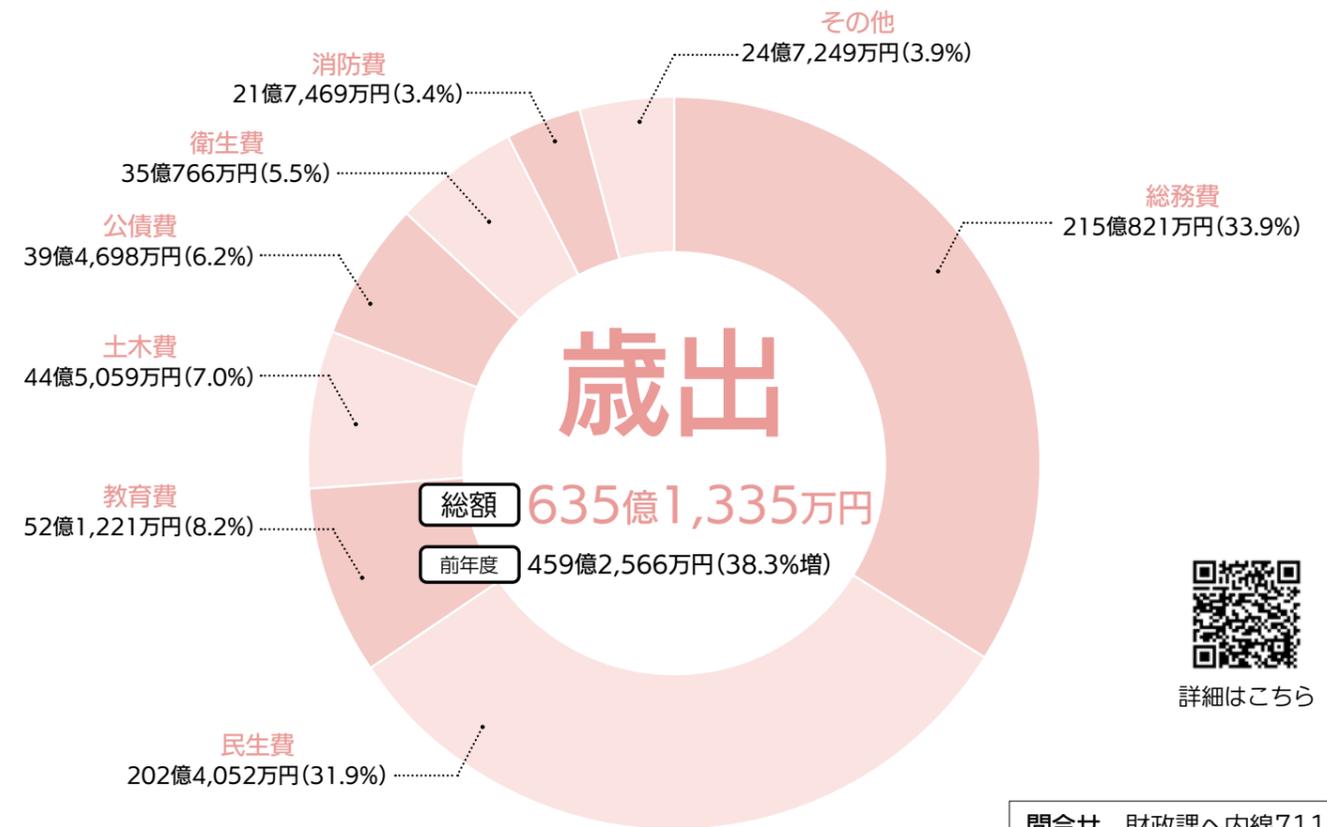
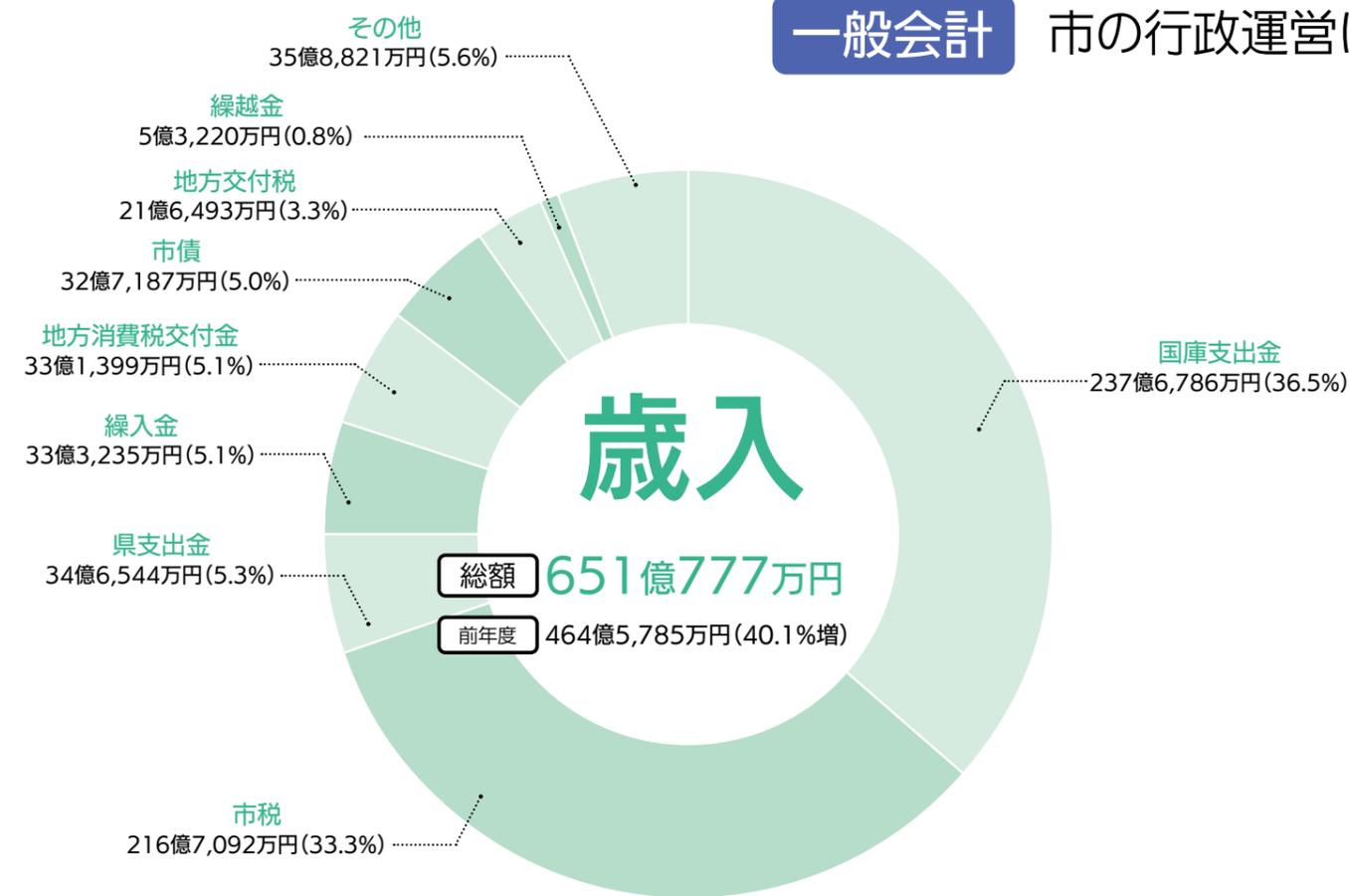
日時 4年1月31日(月)まで

場所 市役所1階情報公開コーナー、地区センター(入曽地域交流センターを含む)、図書館

## 一般会計

## 市の行政運営に

## 使われる一般的な経費です



詳細はこちら

問合せ 財政課へ内線7112

## 市民1人当たりに使われた費用 合計423,909円



総務費 ¥143,553

市有財産の管理や一般事務などに要する経費



民生費 ¥135,092

子どもや高齢者、障害者などの福祉に要する経費



教育費 ¥34,788

学校教育や生涯学習に要する経費



土木費 ¥29,705

道路の建設や公園の整備などのまちづくり、市営住宅の管理に要する経費



公債費 ¥26,343

道路・施設を建設するための借入金の元金や、利子の支払いに要する経費



衛生費 ¥23,411

保健衛生やごみ処理などに要する経費



消防費 ¥14,515

消防や災害対策に要する経費



その他 ¥16,502

市議会運営に要する経費や農業振興のための経費など

# 令和2年度の主な事業

## テーマ1 若い世代を増やす

少子化と人口減少の進行を抑制し、若い世代や子育て世代が住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりに取り組みました。

### 子育て世帯などの定住促進

**移住・定住促進事業** 5,509万9千円

「親元同居・近居支援補助制度」や「若い世代の住宅取得支援補助制度」により、住宅を取得または増改築した世帯に対して費用の一部を補助しました。

### 教育環境の充実

**小学校校舎等改修事業** 5億2,764万7千円  
**中学校校舎等改修事業** 1億5,931万3千円

全小・中学校の校内LAN無線化工事を行いました。また、小学校5校の児童用トイレと、小学校2校の職員用トイレの改修工事や、中学校4校の生徒用トイレの改修工事の設計などを実施しました。

**小学校教育用コンピュータ機器整備事業** 8,988万円  
**中学校教育用コンピュータ機器整備事業** 6,043万9千円

「GIGAスクール構想」に基づき、児童・生徒1人につき1台の情報端末を整備しました。  
※交付金も活用し、事業を完了  
(6ページ参照)



### 仕事と子育ての両立支援

**民間保育所等施設整備補助事業** 1億8,416万5千円

狭山台幼稚園跡地に定員109名の認可保育所を整備した民間事業者に建設費用の一部を補助しました。

### 子育て支援の拠点整備

**入曽地区子育て支援拠点施設等整備事業** 1,126万7千円

入間中学校跡地を活用し、保育所、児童館などを複合した子育て支援拠点施設、公共広場、住宅用地の整備を進めるため、民間事業者の選定を行いました。

## テーマ2 まちと産業に活力を

安全で利便性の高い、快適な都市空間の整備や、地域産業の支援などを通じて活気のあるまちづくりに取り組みました。

### にぎわいの創出

**入間川とことん活用プロジェクト事業** 5,990万4千円

河川敷中央公園に子ども向けの遊具を設置し、民間事業者による飲食施設をオープンしました。

### 都市基盤の整備

**入曽駅周辺整備事業** 1億8,202万5千円

入間小学校跡地内で雨水管、汚水管の布設などの工事や、事業用地の取得を行いました。

**狭山市駅加佐志線整備事業** 1億7,175万5千円

狭山市駅東口土地区画整理事業区域境から東京狭山線までの区間の事業用地の取得や工事を行いました。

**笹井柏原線整備事業** 2億4,135万7千円

工業団地日高線から東京狭山線間の一部区間の道路改良工事と、国道407号から上広瀬土地区画整理事業区域境までの区間の事業用地の取得を行いました。

### 企業や事業者の支援

**産業労働センター管理事業** 9,634万5千円

狭山市ビジネスサポートセンター(Saya-Biz)による中小企業や小規模事業者の支援を行いました。

## テーマ3 楽しめる健康高齢社会を

高齢になっても活躍できる、健康第一の地域づくりや、安全安心のまちづくりに取り組みました。

### 公共交通の充実

**地域公共交通対策事業** 28万1千円

茶の花号の運行ルート見直し後の効果などを検証し、効果的な利用促進策を検討しました。また、新たな地域コミュニティ交通(デマンドバス)の調査・検討を行いました。

### 交通安全の推進

**安全運転支援装置設置助成** 91万6千円

安全運転支援装置を設置した65歳以上の運転者を対象に、設置費用を助成しました。

**高齢者運転免許証自主返納支援事業助成** 657万4千円

運転免許証を自主返納した70歳以上の方を対象に、交通系ICカードへの入金費用を助成しました。

### スポーツの推進

**スポーツ施設整備推進事業** 1億4,108万9千円

武道館の建替工事に着手しました。4年春の供用開始に向けて、地盤改良工事や基礎工事などを行いました。



### 防災体制の充実

**防災対策事業** 1,784万7千円

災害時の情報伝達手段の充実を図るため、「避難情報等電話一斉配信サービス」の対象区域について、これまでの土砂災害警戒区域や入曽地区不老川流域の浸水被害区域に加え、新たに入間川浸水想定区域を追加しました。

## テーマ4 市政運営をみんなの力で

協働によるまちづくり条例に基づき、市民や事業者と行政が連携し、次の世代につながる元気なまちづくりに取り組みました。

### 行財政運営の効率化

**情報化推進事業** 1,404万円

スマート自治体への転換の推進を目的とした「第3次情報化基本計画」を策定しました。また、RPAの利用拡充やAI音声認識議事録作成システムを導入しました。



**AI選考システム導入経費** 438万9千円

保育施設の入所審査について、令和元年度に実施したシミュレーション結果を基にAI入所選考システムを導入し、事務の効率化を図りました。

## 新型コロナウイルス感染症への対応

感染拡大の防止と地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生を図るため「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が創設されました。この交付金は、地域の実情に合わせて柔軟に使うことができるため、狭山市では以下の事業に活用しました。

No	事業の目的	令和2年度執行額
1	地域の経済を守る	6億5,149万円
2	市民の生活を守る	6,000万4千円
3	学びを止めないために	3億9,798万1千円
4	感染拡大を防止する	1億1,506万1千円
合計		12億2,453万6千円

### 地域の経済を守る

**コロナに負けない！事業者応援金** 2億6,860万円  
**コロナに負けない！事業者応援金第2弾** 2億3,910万円

一定の条件を満たした個人事業主、小規模事業者、農業従事者に対し、一律10万円を給付する事業などを実施しました。

### 市民の生活を守る

**コロナに負けない！ひとり親子育て応援金** 4,185万5千円

就業環境の変化による影響を受けやすいひとり親家庭に対し、児童1人当たり3万円を給付する事業を実施しました。

### 学びを止めないために

**小・中学校1人1台情報端末整備** 3億4,419万4千円

児童・生徒1人につき1台の情報端末を配置し、臨時休校などの緊急時でも子どもたちの学びを保障できる環境を整備しました。

### 感染拡大を防止する

**インフルエンザワクチン接種助成** 5,258万8千円  
**PCR検査実施医療機関協力金** 1,400万円

高齢者、妊婦、生後6か月から中学生までの方のインフルエンザワクチン接種費用の助成を行いました。また、PCR検査実施医療機関に協力金を支給しました。